

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
幼児図画工作 Arts and Handicrafts for Infant		児童教育学科 幼児教育学専攻	2年次	前期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
演習	1	選択	縄田 也千	
概要				
紙芝居の製作を通して幼児図画工作の基本的技術の習得を目的とする。各自一つオリジナルの紙芝居を製作する事により、描画材料の扱い、場面の構成力、文章力、読み聞かせの技術など保育士として必要な総合的な力をつけていく。また実習や就職試験にも役立てるようにする。				
到達目標				
(1) 紙芝居の歴史や特徴を知り、その他の児童文化も理解し説明することができる。 (2) 表現したい内容についての積極的な調査をし、子どもに紙芝居を通じて「何を伝えたいか」という問題意識を高め、発達や年齢に合った「内容」を決定できる。 (3) 絵の具やその他の描画材の扱いに熟達し、それぞれの場面の絵を描く事ができる。 (4) それぞれの絵の内容に合った場面の文章を考えて書くことができる。 (5) 演技者として子どもに分かりやすく紙芝居を演ずる事ができる。 (6) お互いの紙芝居を鑑賞して、良いところや改善するところを積極的に話し合い、自分の考えを述べる事ができる。				
授業内容とすすめ方				
1 授業演習の概要について。児童文化の中にある紙芝居の位置付け 2 紙芝居の歴史、特質。制作についての説明、参考作品の鑑賞 3 お話の設定 ストーリーを考える① 5領域やファンタジーの世界から構想を練る 4 お話の設定 ストーリーを考える② アイデアスケッチ（4分の1サイズ上質紙で作成） 5 お話の設定 ストーリーを考える③ アイデアスケッチ、文章を考える 6 場面の絵を描く① 8つ切り画用紙に下描きをする 7 場面の絵を描く②—彩色1週目— 8 場面の絵を描く③—彩色2週目— 9 場面の絵を描く④—彩色3週目— 10 場面の絵を描く⑤—彩色4週目— 11 場面の絵を描く⑥—彩色5週目— 12 場面の絵を描く⑦—彩色6週目— 13 場面に合った文章を考え入力する 14 文章をもう一度校正し、プリントアウトして画用紙に貼り付ける 15 実技発表・講評				
テキストおよび 参考文献	テキスト：子どもと言葉 岡田 明編 萌文書林			
メッセージ など	15コマで1つの紙芝居を完成させるためには相当の集中力を必要とします。描画材（ポスターカラー等）の扱いを知り、構成力、文章力、演技力を身に付けたい人。 保育士証：選択必修科目			

ルーブリック評価を用いた成績評価

到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1) 紙芝居の歴史や特徴を知り、その他の児童文化も理解し説明することができる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。	レポート(知識・理解)	10%
(2) 表現したい内容についての積極的な調査をし、子どもに紙芝居を通じて「何を伝えたいか」という問題意識を高め、発達や年齢に合った「内容」を決定できる。	ほぼ完璧に調査していて子どもの発達や年齢に合った内容を決定できる。	よく調査していて子どもの発達や年齢に合った内容を決定できる。	間違いはいくつかあるが、発達や年齢に合った内容を決定できる。	発達や年齢に合った内容を決定できない。	授業内での制作(発達・年齢に合ったアイデアスケッチをしている)	10%
(3) 絵の具やその他の描画材の扱いに熟達し、それぞれの場面の絵を描く事ができる。	ほぼ完璧に描画材を使いこなし丁寧な仕上げで場面の絵を描くことができる。	描画材をある程度使いこなし丁寧な仕上げで場面の絵を描くことができる。	描画材は使いこなせていないが、自分なりの技法で場面の絵を描くことができる。	描画材を全く使いこなせていない。制作する意欲がない。	授業内での制作(表現技法に対する意欲・関心・態度)	30%
(4) それぞれの絵の内容に合った場面の文章を考えて書くことができる。	ほぼ完璧に絵の内容に合った文章を書けている。	ほぼ絵の内容に合った文章を書けている。	絵の内容に合った文章が書けていない場面もあるが自分なりに表現している。	全く絵の内容に合った文章を書く意欲がない。	授業内での制作(絵に合う文章を書く能力)	20%
(5) 演技者として子どもに分かりやすく紙芝居を演ずる事ができる。	ほぼ完璧に演技ができている。	大きな間違いがなく演技ができている。	やや演技の技能に不足はあるが演ずることができる。	全くできていない。また意欲もない。	実技発表	20%
(6) お互いの紙芝居を鑑賞して、良いところや改善するところを積極的に話し合い、自分の考えを述べる事ができる。	ほぼ完璧に作品について意見を述べる事ができる。	大きな間違いがなく、作品について意見を述べる事ができる。	言葉の選択に間違いはいくつかあるが作品について意見を述べる事ができる。	全く意見が言えない。意欲がない。	授業内での相互評価(鑑賞)	10%